


「これからの建築とまちづくり」  
 せんだいメディアテーク 2017年12月5日

## 「イギリスにおける 建築とまちづくりについて」

連健夫(ムラジタケオ)・建築家  
 首都大学東京、早稲田大学非常勤講師  
 港区まちづくりコンサルタント  
 日本建築家協会全国まちづくり会議議長

東京都立大学大学院修了、建設会社10年勤務の後、1991年  
 渡英、AAスクール大学院、優等学位取得の後、同校助手、1996  
 年に帰国、利用者参加のデザイン、まちづくり活動を行っている。

英国における  
 建築、まちづくりの意識

既存を大切にする

スクラップ&ビルドではない  
 従って、  
 既存の活かし方が問われる

→高度な判断が求められる  
 →専門家・建築家の重要性



都市計画法:都市は美しくなければならない  
 →それを判断する仕組みが必要  
 →CABE(建築まちづくり機構)

### CABEとは何か

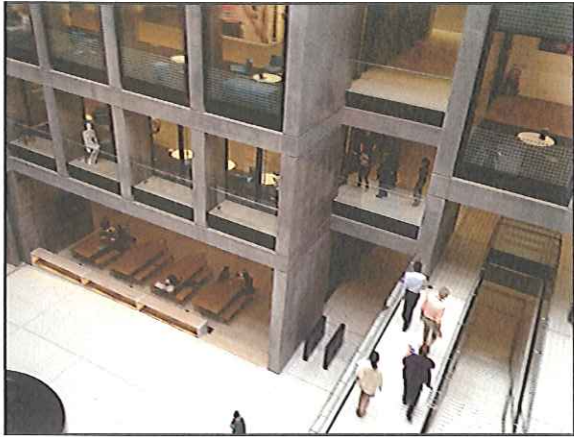
CABE(Comission for Architecture & Built Environment):建築・まちづくり機構

- 1999年に英国で、良質な建築、美しい都市をつくるためにデザイン評価、支援、助言をする機関として、政府の外郭団体として設立された。  
 (年間:20億の予算、100人のスタッフ)
- 公共建築の許可申請に必要な審査(レビュー)をCABEが実施している。民間の大型プロジェクトも同様である。
- 2011年にデザインカウンシルと併合し慈善団体となる。家具も含めた広いエリアを扱う。政府からの助成はなくなったが、13年の実績の元、様々な団体からの支援金、審査料等の収入で運営している。

### CABEの役割

- ①審査(デザインレビュー):建築計画について、計画側が建築計画の内容を説明し、それに対してレビューパネラー(専門家)がアドバイスする。建築の質を高めるのが目的。
- ②実現支援:地方自治体の計画策定、公共施設の計画支援、コンペのアドバイスをを行う。
- ③教育と広報:建築や街づくりについての、教育、出版、研究活動、WEBでの広報活動





## デザインレビューのポイント

- 公開性:記録を残し、誰でも参照することが出来る。
- 客観性:デザインのスタイルについて評価するのではなく、良質なデザインとは何かを示し、問題点や課題を表出させる。
- 協議調整の機会として、専門家が計画側にアドバイスをしている。

## CABEの良質なデザインとは

- ①建物が、その目的に合っており、持続可能であること
- ②周囲の関係において適した場所での開発であること
- ③コミュニティ推進など、利用者のためにデザインされていること
- ④二酸化炭素排出を最小限に抑えるなど、環境に配慮されていること
- ⑤人々が楽しむことが出来、誇りを持てる空間であること。

→誰でもが理解できる評価基準

## CABEの出版物(広報、教育)



CABEの建築家を招聘してシンポジウム (JIA北海道大会2013)



## 良質なコミュニティ活動への助成制度における審査もしている。



## 日本の建築・まちづくりの問題

- 建築確認であり、数量的な判断基準で、美観や保存など文化や質に関わる判断は含まない。
- 景観法による景観審議会の審査はあるが、既に計画が固まった時点での審査であり、修正範囲が限られている。審議会の権限も弱い。事前調整はあるが、担当者は専門家ではない。



## 日本版CABEは可能か？ →協議調整・デザインレビュー

- ①まちづくり協議会を支援し、事業者側が建築計画を説明する機会を作り、協議調整する。
- ②公共建築と一定規模以上の建築計画に建築確認の前に、許可申請として協議調整(デザインレビュー)を位置づける。
- ③景観審議会の事前調整に関わり協議調整する。
- ④自治体の建築計画やコンペのアドバイスをを行う。

### まちづくり協議会での協議調整 (事例:赤坂通りまちづくりの会)



美観活動:芝桜植え



落書き消しワークショップ



赤坂通りまちづくりビジョンづくりワークショップ



提案:旧日大三高通りのリニューアルデザイン



計画例がまちづくり協議会に来て建築計画についての意見交換



3ヶ月後に、協議会の要望を取り入れたデザインを説明、拍手が起こった！

- ①「歴史や文化」「良質や美しい」といった定性的視点は協議調整・デザインレビューによって担保できる
- ②住民参加は、形だけのワークショップではなく、住民の想いを活かすという意識が大切
- ③そのためには、何気ない言葉に意味を見出す専門家・ファシリテーターの力が必要
- ④創造的、かつ調整能力を持つ、専門家・建築家が求められる。
- ⑤そのための仕組みが必要である。

JCAABE

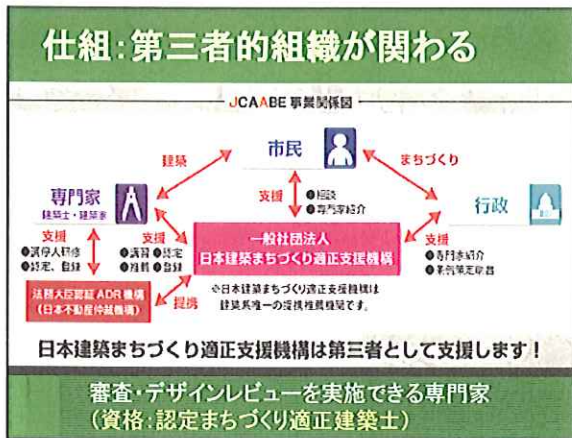
(事例)

Japan Commission for API

法務大臣認証 ADR 機関提携団体

一般社団法人

日本建築まちづくり適正支援機構



### 専門家の研修、資格、紹介、推薦

ADR 調停人研修  
建築やまちづくりのトラブルを調停する専門家

ADR (裁判外紛争解決手続) 調停人とは

ADRメソッド

認定まちづくり適正建築士セミナー

認定まちづくり適正建築士とは

認定まちづくり適正建築士からのお知らせ

一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構からのフォローアップ

一般社団法人 日本建築まちづくり適正支援機構とは

### 活動内容、役割

街づくりワークショップ

デザインレビュー  
まちづくり協議会での協議調整

行政への支援: まちづくり条例づくり  
: 計画支援

市民からの相談を受ける  
アドバイスを

### 「良質な建築、美しいまちづくり」ポイント

- ① 理念・判断基準を明確にする  
→ 建築まちづくり基本法、まちづくりビジョン
- ② 第三者が関与する仕組みをつくる  
→ 専門団体、JIA、日本建築まちづくり支援機構
- ③ 審査・デザインレビューができる専門家を確保  
→ 行政に登録制度、認定まちづくり適正建築士